

小田急多摩線延伸ニュース

～第10号～ 平成24年3月

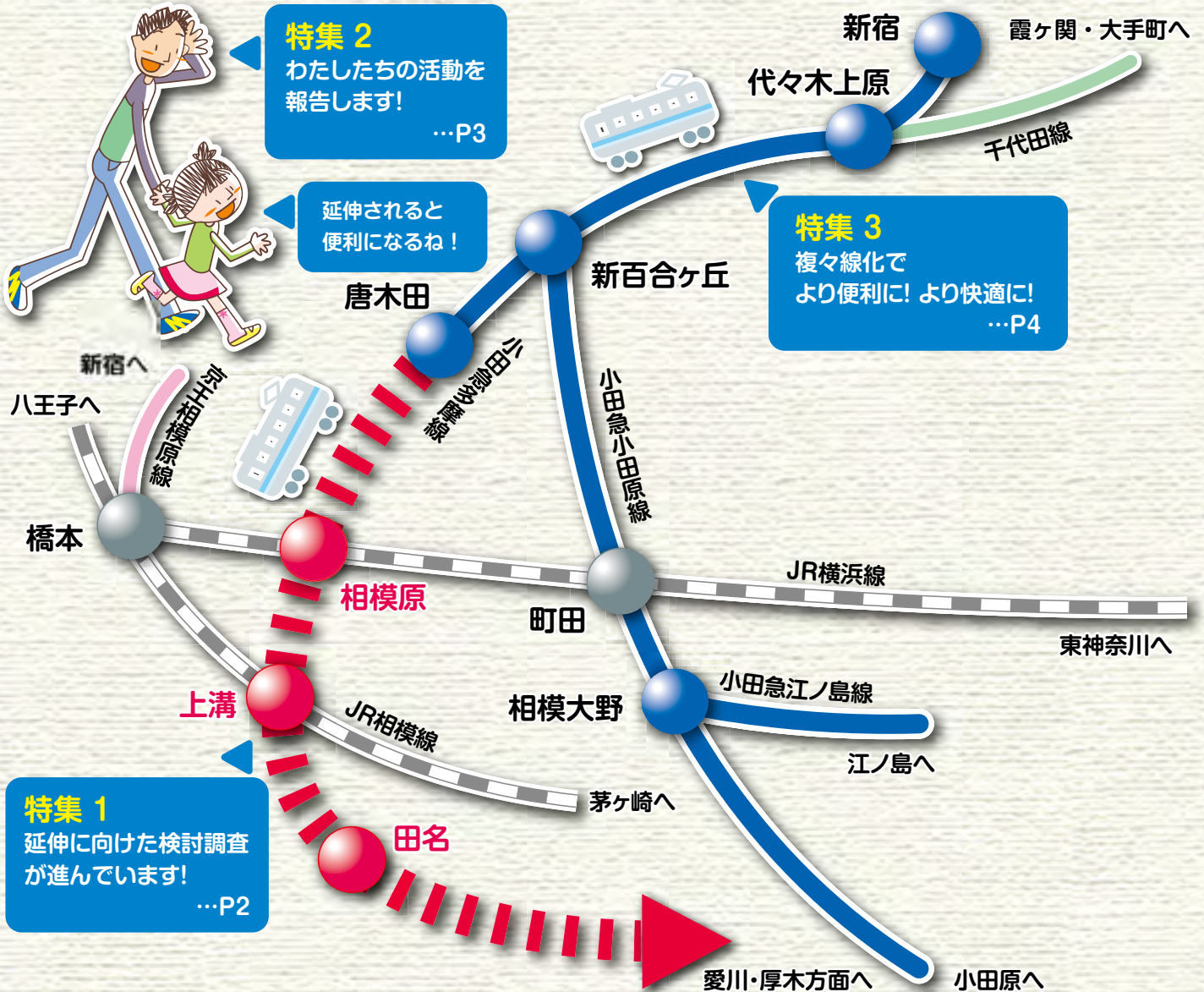
発行／小田急多摩線延伸促進協議会
(平成14年9月発足)

編集／相模原市
交通政策課(平成24年4月名称変更)

COME TRUE

COME TRUE とは、「実現する、本当になる」という意味を持つ言葉です

市民の方で小田急多摩線を延伸させよう



会長あいさつ

小田急多摩線延伸促進協議会
会長 成川 猛



小田急多摩線延伸促進協議会は、小田急多摩線延伸の早期実現を強力に推進することを目的に、要望活動や研修会などの様々な促進活動、PR活動を展開しております。

こうした中、昨年5月には、相模原市と町田市が平成21・22年の2か年をかけて実施した共同調査の結果が公表され、一定の条件のもとで事業性が見込まれたことや、今年度からは、田名地域を經由し、愛川・厚木方面への延伸についても具体的な検討調査が開始されるなど、延伸に向けて着実に前進していると実感しております。

今後も引き続き、活発な活動を行い、JR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には田名地域を經由し、愛川・厚木方面への延伸が一日でも早く実現されるよう、関係機関と連携を図りながら取り組んでまいりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

特集1 延伸に向けた検討調査が進んでいます！

相模原市・町田市による共同調査の結果が公表されました！

相模原市・町田市による「小田急多摩線延伸検討会」において、鉄道事業者等の協力を得ながら、延伸の実現に向けた検討が進められており、平成23年5月に、平成21・22年度の2か年をかけて実施した、両市による共同調査の結果が公表されました。

今後は、この調査結果を踏まえ、早期の事業化に向けて、関係機関や地域での合意形成ができるよう、更なる検討の深度化に取り組んでいくことが両市で確認されました。

〈調査概要〉

- ・唐木田～上溝を検討区間としました。
- ・5駅整備または3駅整備を想定しました。
- ・沿線のまちづくりや加算運賃を見込んで、需要予測、事業採算性を検討しました。

〈調査結果〉

- ・3駅整備の場合、一定の事業性が見込まれました。
- ・運賃や運行本数といったサービスレベルの検討において、事業採算性が見込まれないケースも確認されました。

〈課題〉

延伸の実現に向けては次のような課題があります。

- ①沿線のまちづくり ②事業採算性の確保 ③財源の確保 ④関係者の合意形成

(出典：小田急多摩線延伸実現化検討調査 結果概要)

愛川・厚木方面への検討も進んでいます！

相模原市、厚木市、愛川町、清川村で構成する「小田急多摩線の延伸促進に関する連絡会」において、「田名地域を經由し、愛川・厚木方面への延伸」に向けた具体的な検討調査が進められています。

わたしたちは強力に延伸を促進します！

わたしたちは、こうした動きに合わせて、更に要望活動やPR活動などを充実させ、強力に延伸を促進していきたいと考えています！



○答申第18号の位置付け※(共同調査検討区間)：唐木田～上溝
○相模原市の位置付け：唐木田～田名地域を經由し、愛川・厚木方面
※国の諮問機関である運輸政策審議会(現：交通政策審議会)の答申第18号(平成12年1月)において、「今後整備について検討すべき路線(B路線)」に位置付けられています。

(出典：広報さがみはら 23.7.1)

「小田急多摩線延伸促進活動」を応援しています！

I LOVE AIR.
限りなくCO₂排出量を削減した世界初のエレクトリックブルドーザー。
Global Leadership

キャタピラー・ジャパン株式会社
CATERPILLAR
TODAY'S WORK. TOMORROW'S WORLD.

共に創る。共に生きる。

Daiwa House 大和ハウスグループ

大和ハウスグループは、グループシンボル「エンドレスハート」にお客様と私たちの永遠の絆と私たちがグループの連帯感を託しました。人・街・暮らしの価値共創グループとして、私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

大和ハウス工業株式会社 相模原支店
神奈川県相模原市中央区中央3-1-15 〒252-0239
Tel 042-776-8523 建設業許可番号・国土交通大臣許可(特-22)第5279号
Fax 042-776-8529 宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(13)第245号

特集2 協議会の活動を報告します！

「さがみはらフェスタ」で小田急多摩線延伸をPRしました！

平成23年11月19、20日に、相模総合補給廠の一部返還予定地内で開催された「さがみはらフェスタ」において、延伸の必要性及び協議会の活動をPRするため、ブースを設置し、パネルの展示や延伸ニュースの配布、ロマンスカーペーパークラフトの作成体験等を行いました。

また、イベントステージでは小田急線延伸音頭を披露しました。



ペーパークラフトが大変好評でした！

関係機関への要望活動を実施しました！

平成23年11月9日に、小田急電鉄、神奈川県、町田市、町田市議会、平成24年1月30日に、相模原市、相模原市議会に対してそれぞれ要望書を提出し、延伸の早期実現を要望しました。

意見交換の中では、延伸するためには沿線のまちづくりと一体となって取り組んでいく必要があることを確認しました。



古尾谷神奈川県副知事(右)に要望書を手渡す成川会長

合同勉強会を開催しました！

平成24年2月1日に、本協議会と小田急多摩線延伸を促進する議員連盟、町田市の市民団体とともに、勉強会を実施しました。

勉強会では、相模原市から小田急多摩線延伸に向けた取組状況等について説明を受けた後、各団体の取組状況や連携のあり方等について意見交換が行われ、今後も連携を図りながら強力に延伸を促進していくことが確認されました。



活発な意見交換がされました！

「小田急多摩線延伸促進活動」を応援しています！

皆様の赤誠溢れる御奉賛を切にお願ひ申し上げます

奉祝 御鎮座八百年記念 御社殿御神門等御造営事業

厄除け 交通安全 家内安全
結婚式 安産祈願 初宮参り
商売繁盛 健康祈願 地鎮祭
その他諸祈願承ります

北相模総守護社 相模原市中央区上溝1678番 鎮座
TEL: 042-751-1138 FAX: 042-757-3811
WEB: http://www.kamegaike.jp/

完成予想図

センサからシステムまでを創造する
東邦電子株式会社

URL http://www.toho-inc.co.jp E-mail info@toho-inc.co.jp

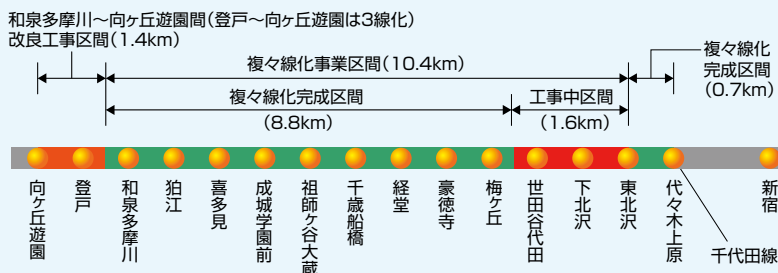
本社 〒252-0245 相模原市中央区田名塩田1-13-21
☎ 042-777-3311(代)

特集3 複々線化でより便利に！より快適に！

小田急線複々線化事業の概要

朝のラッシュピーク時間帯を中心とした、高い混雑率等へ対応するための抜本的な輸送改善施策として、東北沢～和泉多摩川（10.4km）を複々線化するものです。

複々線化の完成により、朝のラッシュピーク時間帯における列車の増発が可能となり、相模原市内においても都心方面への所要時間の短縮や混雑緩和といった輸送サービスの改善が図られるとともに、小田急多摩線を延伸する上でもその効果が見込めるため、本協議会としても早期の完成を期待しています。



・所要時間の短縮

(例) 向ヶ丘遊園⇒新宿間の所要時間

	ラッシュピーク時間帯		日中時間帯
	急行	各駅停車	各駅停車
着工前	33分	40分	43分
現在	25分	36分	36分
完成時	21分	34分	34分
短縮時間	12分	6分	9分



・混雑の緩和



新聞や雑誌を楽な姿勢で読みながら通勤できる程度にまで混雑が緩和

(出典：小田急電鉄HP)

小田急多摩線延伸促進協議会の構成団体

相模原市自治会連合会

各地区自治会連合会（小山、清新、横山、中央、星が丘、光が丘、大野北、大沢、田名、上溝）

相模原商工会議所

相模原中央商店街協同組合、相模原西商店街協同組合、相模原東商店会、さがみ夢大通り商店会、西門地区商業地活性化協議会、みなはし商栄会協同組合、矢部商工みどり会、上溝商店街振興組合、田名商工連盟、高校通り商栄会、水郷田名観光協会、田名財産管理委員会、

田名地区公共交通整備促進協議会

(以上 25 団体)

【小田急多摩線延伸促進協議会の取り組み】

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/toshikotsu/20804/22611/001664.html>